



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月8日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
 コード番号 7453 URL <https://ryohin-keikaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 杉山 孝太 TEL 03-3989-5972
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	114,960	46.0	13,154	—	13,478	—	12,248	—
2020年8月期第1四半期	78,753	△29.9	△2,899	—	△3,665	—	△4,116	—

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 13,196百万円 (—%) 2020年8月期第1四半期 △6,704百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	46.57	46.46
2020年8月期第1四半期	△15.65	—

(注) 1. 当社は、2020年5月27日に開催の第41期定時株主総会において「定款一部変更の件」を決議し、第42期より、決算期を2月末日から8月31日に変更いたしました。対前年同四半期増減率については、2020年8月期第1四半期（2020年3月1日から2020年5月31日）と2021年8月期第1四半期（2020年9月1日から2020年11月30日）で異なりますが、参考数値として記載しております。

2. 2020年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第1四半期	358,598	195,813	53.8	733.31
2020年8月期	343,918	182,992	52.4	684.94

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 192,879百万円 2020年8月期 180,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—			5.00	5.00
2021年8月期	—				
2021年8月期（予想）		20.00	—	20.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2020年8月期は決算期の変更により、2020年3月1日から2020年8月31日までの6ヵ月間の決算期間となっております。

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	244,800	—	26,200	—	26,400	—	19,400	—	73.76
通期	487,600	—	49,200	—	49,800	—	34,800	—	132.31

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 2020年8月期は決算期の変更により、2020年3月1日から2020年8月31日までの6ヵ月の決算期間となっております。このため、対前期増減率については、記載しておりません。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名 ー）、除外 一社（社名 ー）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は【添付資料】P.8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	280,780,000株	2020年8月期	280,780,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	17,754,940株	2020年8月期	17,754,940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	263,025,060株	2020年8月期1Q	263,022,665株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年5月27日に開催の第41期定時株主総会において「定款一部変更の件」を決議し、第42期より、決算期を2月末日から8月31日に変更いたしました。経営成績及び各セグメントにおける対前年同四半期比については、第1四半期連結累計期間が第42期(2020年3月1日から2020年5月31日)と第43期(2020年9月1日から2020年11月30日)で異なりますが、参考数値として記載しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する各種政策効果により、企業活動や経済活動に持ち直しの動きが見られましたが、感染再拡大の懸念が続いており、先行きの不透明な状況が続いております。

世界経済は、中国、東アジアでは新型コロナウイルス感染症の収束に伴い緩やかな回復基調にある一方で、欧米、西南アジアの一部では感染症拡大の深刻化により移動制限が再導入されるなど経済活動停滞の長期化が懸念されます。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良いくらし」を実現する企業”として、『ムダをなくす』『天然資源の保全』『安心・安全』『絆を大切にする』『温暖化への配慮』をテーマに、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	1,149億60百万円(前年同期比46.0%増)
売上高	1,146億37百万円(前年同期比46.0%増)
営業利益	131億54百万円(前年同期は28億99百万円の損失)
経常利益	134億78百万円(前年同期は36億65百万円の損失)
親会社株主に帰属する四半期純利益	122億48百万円(前年同期は41億16百万円の損失)

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、文中の店舗数は、無印良品、MUJIcom、MUJI to Go、Cafe MUJI、Cafe&Meal MUJI、IDEE店舗等の合計を表記しております。

① 国内事業

国内事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は741億6百万円(前年同期比43.0%増)、セグメント利益は83億2百万円(前年同期は9億90百万円の損失)と増収増益になりました。

当第1四半期連結会計期間末の国内事業店舗数は、481店舗(前期末差2店舗増)となりました。

「くらしの基本」となる商品の価格の見直しを行い、パジャマ、肌着、靴下など衣服・雑貨が好調に推移いたしました。

生活雑貨は、価格の見直しを行ったキッチン用品、掃除用品などの日用品や、オンラインストア限定で行った家具の販売施策が堅調に推移いたしました。

食品はTV番組で紹介されたカレーや菓子などが売上を牽引いたしました。

期間限定価格などの営業施策を抑制し、値下販売のコントロールを行い、売上総利益が増加したことにより、セグメント利益が増加いたしました。

② 東アジア事業

東アジア事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は330億48百万円(前年同期比69.4%増)、セグメント利益は64億23百万円(同345.6%増)と増収増益になりました。

当第1四半期連結会計期間末の東アジア事業店舗数は、412店舗(前期末差5店舗増)となりました。

中国大陸では、生活雑貨の現地企画商品などの売上が伸長し、また、値下販売を抑制し、販売管理費のコントロールを行いました。

台湾においては、地域密着型のスーパーマーケット「全聯福利中心 Pxmart」での販売を開始し、堅調に推移いたしました。

③ 欧米事業

欧米事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は45億26百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント損失は5億74百万円(前年同期は19億91百万円の損失)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の欧米事業店舗数は、61店舗(前期末同様)となりました。

北米では、新型コロナウイルス感染症の拡大による移動制限等の影響により業績が低調となりました。

欧州においても、11月より各都市で新型コロナウイルス感染症の拡大によるロックダウンが再実施され、多くの店舗が休業となり、売上が計画を大幅に下回りましたが、各国での店舗賃料の軽減等により販売管理費が軽減されました。

④ 西南アジア・オセアニア事業

西南アジア・オセアニア事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は32億79百万円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益は4億79百万円(前年同期は1億3百万円の損失)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の西南アジア・オセアニア事業店舗数は、81店舗(前期末差1店舗減)となりました。

タイにおいては、大規模な反政府デモの影響で都市部での来店客数が減少いたしました。郊外店舗が好調に推移いたしました。

一方、シンガポール、マレーシア、オーストラリアでは新型コロナウイルス感染症の拡大によるロックダウン、移動制限等の影響で、来店客数が減少いたしました。店舗賃料の軽減等により販売管理費が軽減されました。

各国において、値下販売の抑制を行ったことも、セグメント利益の増加に寄与いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は3,585億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ146億80百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加152億58百万円、未収入金の増加20億10百万円及び商品の減少43億円によるものです。

負債は1,627億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ、18億59百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加16億49百万円、未払費用の増加11億20百万円及びリース解約債務の減少26億33百万円によるものです。

純資産は1,958億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ、128億20百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加117億82百万円及び為替換算調整勘定の増加11億66百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の52.4%から53.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月8日付「2020年8月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,308	107,567
受取手形及び売掛金	9,215	10,046
商品	104,988	100,687
仕掛品	233	310
貯蔵品	63	78
未収入金	11,930	13,940
その他	5,304	4,575
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	224,005	237,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,314	58,577
減価償却累計額	△30,051	△30,944
建物及び構築物(純額)	27,262	27,632
機械装置及び運搬具	4,799	4,779
減価償却累計額	△2,830	△2,906
機械装置及び運搬具(純額)	1,968	1,872
工具、器具及び備品	23,661	24,090
減価償却累計額	△14,712	△15,332
工具、器具及び備品(純額)	8,948	8,757
土地	1,866	1,866
リース資産	78	77
減価償却累計額	△21	△21
リース資産(純額)	57	55
使用権資産	36,775	38,876
減価償却累計額	△9,773	△11,999
使用権資産(純額)	27,002	26,876
建設仮勘定	704	1,684
有形固定資産合計	67,810	68,745
無形固定資産		
のれん	2,819	2,611
ソフトウェア	19,267	20,038
その他	2,094	2,124
無形固定資産合計	24,180	24,774
投資その他の資産		
投資有価証券	4,108	4,344
繰延税金資産	2,110	2,112
敷金及び保証金	18,624	18,581
その他	3,195	2,988
貸倒引当金	△116	△115
投資その他の資産合計	27,921	27,911
固定資産合計	119,912	121,432
資産合計	343,918	358,598

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,507	19,602
短期借入金	4,482	4,705
1年内返済予定の長期借入金	360	376
未払金	9,323	9,322
未払費用	5,389	6,509
未払法人税等	1,536	3,185
リース債務	7,253	7,871
賞与引当金	964	1,244
役員賞与引当金	0	24
ポイント引当金	198	178
リース解約債務	3,220	586
その他	3,686	4,063
流動負債合計	55,923	57,671
固定負債		
長期借入金	71,963	71,977
繰延税金負債	1,970	2,447
リース債務	25,551	25,055
役員退職慰労引当金	47	60
その他	5,470	5,573
固定負債合計	105,001	105,113
負債合計	160,925	162,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,900	10,909
利益剰余金	177,874	189,657
自己株式	△13,965	△13,965
株主資本合計	181,574	193,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,605	1,769
繰延ヘッジ損益	674	276
為替換算調整勘定	△3,699	△2,532
その他の包括利益累計額合計	△1,419	△487
新株予約権	931	1,016
非支配株主持分	1,905	1,917
純資産合計	182,992	195,813
負債純資産合計	343,918	358,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	78,509	114,637
売上原価	41,892	57,499
売上総利益	36,616	57,138
営業収入	243	322
営業総利益	36,860	57,461
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,156	1,458
配送及び運搬費	5,533	6,951
従業員給料及び賞与	11,736	11,189
役員賞与引当金繰入額	7	23
借地借家料	6,314	8,825
減価償却費	5,209	4,510
ポイント引当金繰入額	74	△20
その他	9,727	11,368
販売費及び一般管理費合計	39,760	44,307
営業利益又は営業損失(△)	△2,899	13,154
営業外収益		
受取利息	76	53
受取配当金	2	2
為替差益	—	273
貸倒引当金戻入額	0	—
持分法による投資利益	10	7
補助金収入	11	233
その他	256	102
営業外収益合計	357	672
営業外費用		
支払利息	300	338
為替差損	792	—
その他	29	9
営業外費用合計	1,122	347
経常利益又は経常損失(△)	△3,665	13,478
特別利益		
固定資産売却益	0	1
リース解約債務免除益	—	2,547
特別利益合計	0	2,548
特別損失		
減損損失	1,769	—
固定資産除却損	29	39
その他	4	0
特別損失合計	1,803	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,468	15,988
法人税等	△736	3,719
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,731	12,268
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△614	20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,116	12,248

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,731	12,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	163
繰延ヘッジ損益	△352	△397
為替換算調整勘定	△1,556	1,164
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△2
その他の包括利益合計	△1,972	927
四半期包括利益	△6,704	13,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,879	13,180
非支配株主に係る四半期包括利益	△825	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	51,829	19,514	4,114	3,292	78,750	2	—	78,753
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	0	—	—	—	0	2,030	△2,030	—
計	51,829	19,514	4,114	3,292	78,751	2,032	△2,030	78,753
セグメント利益 又は損失(△)	△990	1,441	△1,991	△103	△1,643	69	△1,325	△2,899

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,325百万円にはセグメント間取引消去△42百万円、棚卸資産の未実現利益消去301百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,585百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社が行う海外の無印良品ライセンス供与先への商品卸売事業を西南アジア・オセアニア事業として区分してきましたが、経営管理体制等の実態を踏まえ、国内事業へと区分する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、主に当社の共通コストの配分方法を見直すとともに、東アジア事業、欧米事業及び西南アジア・オセアニア事業の各セグメントに配分していた費用等の一部については、全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧米事業」セグメントにおいて、1,532百万円の減損損失を計上しております。これらを含め、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において1,769百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	74,106	33,048	4,526	3,279	114,960	-	-	114,960
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	0	0	-	-	1	114	△116	-
計	74,107	33,049	4,526	3,279	114,962	114	△116	114,960
セグメント利益 又は損失(△)	8,302	6,423	△574	479	14,632	45	△1,524	13,154

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,524百万円にはセグメント間取引消去△2百万円、棚卸資産の未実現利益消去△19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,502百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。